


オオシラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.f. et Thomson var. <i>japonica</i> (Nakai) Ohwi	絶滅危惧Ⅱ類
		ユキノシタ科
選定理由	生育地が過度に分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さい。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	高さ30cm程。長柄の根生葉を束生し、根茎が短い多年草。花茎の頂に5数性の白色花をつける。花弁の縁はひげ状に細裂するのは基準種のシラヒゲソウと同様であるが、花茎を抱く葉の数が2-4個と少なく、花の径が3-3.5cmである。花弁の長さはひげとともに1.6-1.8cmになり、萼片(がくへん)が0.7-1cmとシラヒゲソウより大きい。	
生態的特徴	多雪地域の湿った岩上などに生育し、7月下旬-9月に花を咲かせる。	
分布状況	日本固有の変種。本州(秋田県~兵庫県の日本海側)に隔離分布し、岐阜県においては飛騨地方に見られる。	
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。さらに採取圧も懸念される。	
保全対策	生育地の保全および採取の制限。	
特記事項	開発工事の計画には、小規模な場合でも、事前の調査と細心の注意が必要である。	
参考文献	佐竹義輔他編集(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類: p.155. 平凡社 大井次三郎(1983)新日本植物誌 顕花編: p.808. 至文堂	

文責: 後藤常明